

日米投信概況

**日本で日本株ETFに巨額純流出、米国で商品ETFに巨額純流入！**  
 ～日本籍日本株ETFの大きな解約は今年の5月も裁定取引解消の可能性、  
 米国籍商品ETFの過去最大の純流入は株式分割を考慮しない純設定推計の可能性～

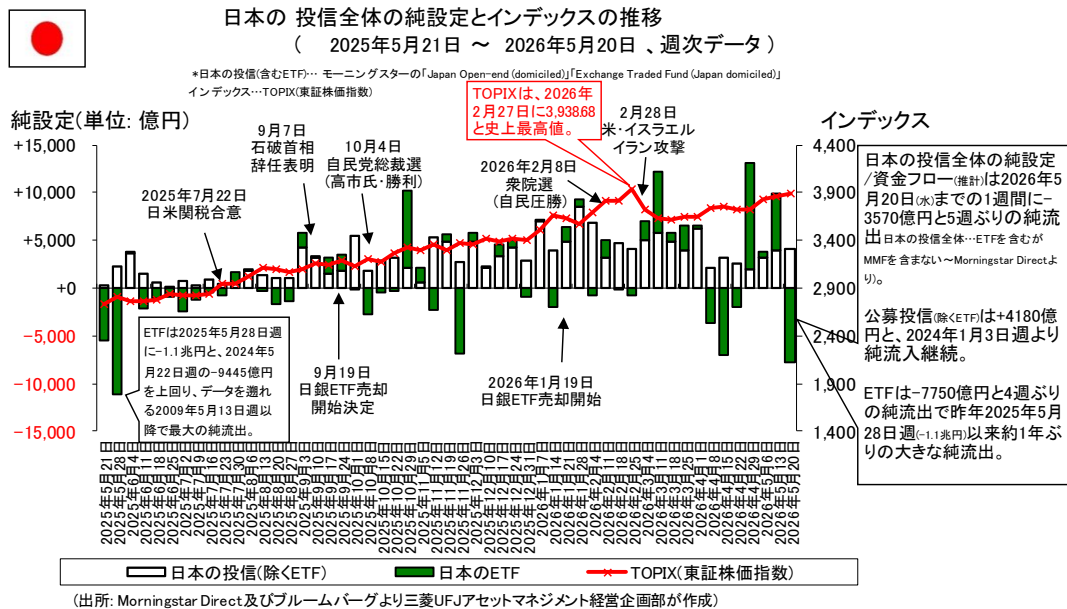
三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部 松尾健治 (シニアリサーチアナリスト)  
 窪田真美 (シニアリサーチアナリスト)

- 日本籍日本株ETFに巨額純流出！ただ、今年の5月も裁定取引解消の可能性.....p.1
- 米国籍商品ETFに巨額純流入！ただ、株式分割を考慮しない純設定推計の可能性.....p.4

● **日本籍日本株ETFに巨額純流出！ただ、今年の5月も裁定取引解消の可能性**

日本籍の投信全体の純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年5月20日(水)までの1週間に-3,570億円と5週ぶりの純流出(日本籍投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。公募投信(除くETF)は+4,180億円と、2024年1月3日週より純流入継続。ETFは-7,750億円と4週ぶりの純流出で、約1年ぶりの大きな純流出(理由などは後述する)。

2026年5月20日(水)までの1週間に日本籍のETFが-7,750億円と4週ぶりの純流出で、約1年ぶりの大きな純流出となった。「約1年ぶり」というのは、約1年前の2025年5月28日週に、日本籍のETFが-1.1兆円という過去最大(2024年5月22日週の-9,445億円を上回り、データを遡れる2009年5月13日週以降最大の純流出)を記録して以来の大きさという事である(後述)。



公募投信(除くETF)の2026年5月20日週の純設定額+4,180億円について分類別に見る。純流入1～5位はグローバル株、日本株大型グロース、テクノロジー株、米国株、グローバル・ハイイールド債-円ヘッジ。純流出1～5位はインド株、グローバル株・日本を除く円ヘッジ、その他株、モデレート・アセットアロケーション、商品。



日本の投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順)

2026-05-20現在

\*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

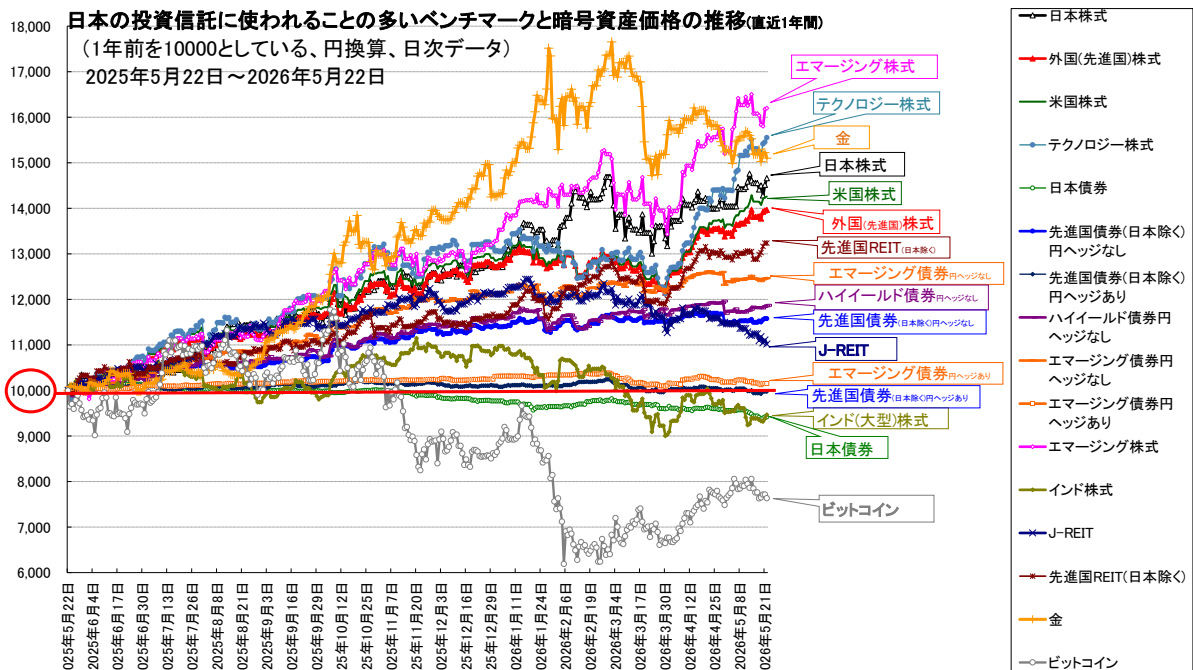
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	World Equity	+158,561	+242,848	+559,681	32,527,167	グローバル株
2	Japan Large-Cap Growth Equity	+55,226	-65,678	+3,888	8,413,738	日本株大型グロース
3	Sector Equity Technology	+55,178	+52,547	+160,401	11,991,595	テクノロジー株
4	US Equity	+36,722	+165,761	+208,827	35,584,942	米国株
5	Global High Yield Bond - JPY Hedged	+27,324	+183	+27,521	111,526	グローバル・ハイイールド債-円ヘッジ
6	Global Emerging Markets Equity	+26,901	+14,498	+69,515	2,366,164	エマージング株-グローバル
7	Japan Bond - Long/Intermediate	+26,674	-1,833	+39,704	4,281,587	日本債-中長期
8	World ex-Japan Equity	+21,332	-37,333	+43,703	19,058,964	グローバル株-日本を除く
9	Trading - Leveraged/Inverse	+19,315	-27,868	-17,512	816,774	トレーディングレバレッジド/インバース
10	World ex-Japan Bond	+17,368	-16,241	+8,787	3,626,082	グローバル債-日本を除く
14	Japan Large-Cap Value Equity	+6,206	+6,558	+25,691	2,498,363	日本株大型バリュー
17	Japan Specialty Equity	+4,118	+1,954	+12,295	808,870	日本・特定テーマ/セクター株
21	Japan Small/Mid-Cap Blend Equity	+1,744	+15,861	+21,912	460,564	日本株中小型株ブレンド
68	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-1,207	-9,824	-7,054	1,882,368	日本株中小型バリュー
74	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-2,358	-3,375	-8,633	1,089,131	日本株中小型株グロース
76	Moderately Conservative Allocation	-2,861	-2,401	+2,211	3,108,052	モデレート・コンサバティブ・アセットアロケーション
77	US Equity - JPY Hedged	-3,728	-4,299	-11,711	527,218	米国株-円ヘッジ
78	Japan REIT	-4,894	+625	-1,931	2,159,924	日本REIT
79	Sector Equity Healthcare	-5,952	-974	-9,407	793,342	ヘルスケア株
80	Other Allocation	-6,903	-2,899	-13,341	875,450	その他アロケーション
81	Commodity	-7,662	-332	+8,110	3,850,315	商品
82	Moderate Allocation	-9,369	+8,819	+14,866	4,910,251	モデレート・アセットアロケーション
83	Other Equity	-10,118	+725	-6,472	1,728,376	その他株
84	World ex-Japan Equity - JPY Hedged	-13,461	-854	-13,069	514,602	グローバル株-日本を除く-円ヘッジ
85	India Equity	-18,407	-7,291	-36,863	2,342,526	インド株
	全85分類の合計	+418,005	+400,610	+1,329,339	195,169,989	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	-3.26	+5.12	+1.26		
	S&P500	-0.12	+1.11	+4.23		
	MSCI ワールド	-0.16	+0.57	+3.19		

上位  
10  
分類  
↑

↓  
下位  
10  
分類

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

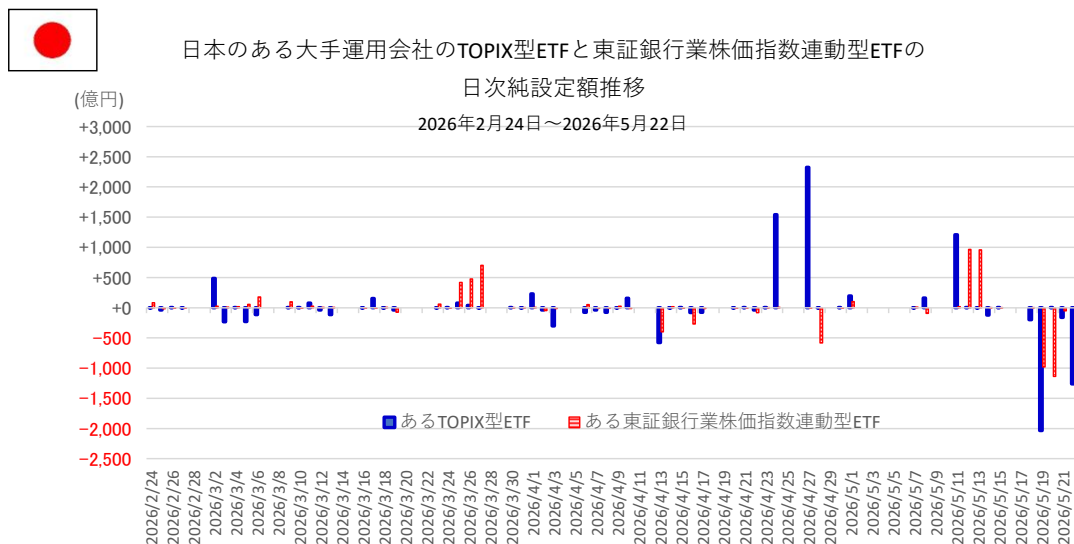


(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成) \*ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

先に述べた通り、2026年5月20日(水)までの1週間に日本籍のETFが**-7,750億円**と4週ぶりの純流出で、約1年ぶりの大きな純流出となった。約1年前の2025年5月28日週に、日本籍のETFが**-1.1兆円**という過去最大(2024年5月22日週の-9,445億円を上回り、データを遡れる2009年5月13日週以降最大の)純流出を記録して以来の大きさとなった。

1年前当時、当レポートは2025年6月9日付投信調査レポートNo.440で「2025年4月に大手運用会社のTOPIX型ETFで1兆円近い大きな純流入(設定)があり、翌月2025年5月に大きな純流出(交換)があったと言う事で、これは昨年2024年4月の大きな純流入(設定)と翌月2024年5月の純流出(交換)にも似ている。**昨年(2024年)も今年(2025年)もTOPIX型ETFには4月に大きなプレミアムとなるものがあり、指定参加者(証券会社)が4月に割高なETFを借入れ空売り、そのETF売付け代金で割安な(昨年も今年も下落トレンドの)TOPIXの構成銘柄を買付け、ETFの現物拋出設定をした(裁定取引の可能性)がある。**薄い利益になる可能性があるが、だから巨額の現物拋出設定、つまり、大きな純流入(設定)となる。裁定取引は単純に買って市場リスクを取るわけでないので大きなポジションも取れる。翌月5月は裁定取引の反対売買で、指定参加者(証券会社)がETFをそのまま借入れ先に返済する事もあるが、ETFがディスカウントの場合、ETFを取引所や店頭で買って返す事、保有ETFを現物交換解約して取引所や店頭で現物を売る事も出来る。」と報告した(2025年6月9日付投信調査レポートNo.440「世界の日本株ファンド月次流入(ETFを含む)～週次流出:日本籍は欧州株に8年ぶり大きな流入でゴールド/金も堅調!日本株ファンドが大幅純流出!米国籍は債券、ビットコイン、欧州株、インド株に純流入!日本株は純流出～」[https://www.am.mf.jp/report/investgate/report\\_250609.pdf](https://www.am.mf.jp/report/investgate/report_250609.pdf))。

今年も2026年4月29日週に日本籍ETFは+1.1兆円という週次ベースで最大の純流入となっている事から、また裁定取引が起きた可能性が高い。日本籍ETFの純設定を、先週末2026年5月22日(金)まで、日次で遡ると、2026年5月22日(金)**-4,039億円**(4日連続純流出)←5月21日(木)**-826億円**←5月20日(水)**-2,185億円**←5月19日(火)**-5,388億円**←5月18日(月)+64億円←5月15日(金)**-224億円**←5月14日(木)**-17億円**(5日ぶり純流出)。となっている。2026年5月19日(火)の**-5,388億円**が大きな純流出である。ある大手運用会社のTOPIX型ETFが、前月4月27日(月)に2,000億円を超える純流入(設定)があり、**今月5月19日(火)に2,000億円を超える純流出(交換)があった。**このETFの日次ディスカウント・プレミアムを見ると、前月4月22日(水)にかけて**プレミアム**で、今月5月18日にかけて**ディスカウント**だった。



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

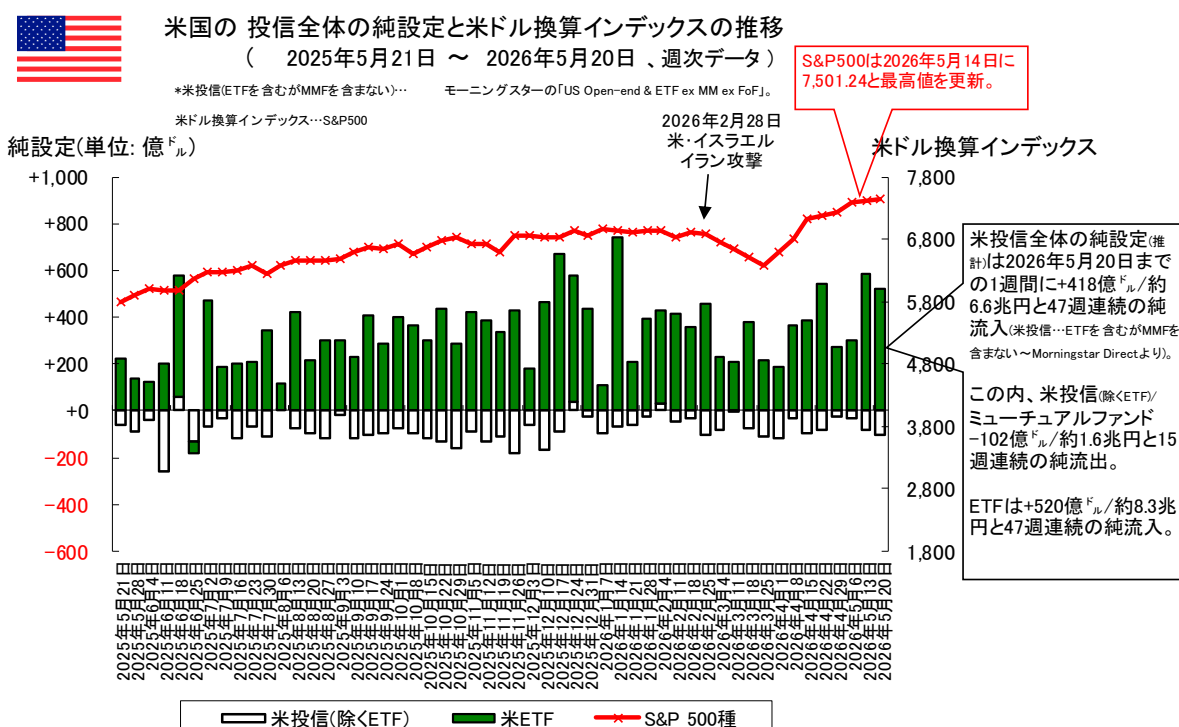
このほか5月12日・13日と2日で2,000億円弱の純流入(設定)があり、5月19日・20日と2日で2,000億円を超える純流出(交換)のあった、ある大手運用会社の東証銀行業株価指数連動型ETFもあり、このETFの日次ディスカウント・プレミアムを見ると、5月8日(金)に**プレミアム**で、5月15日に**ディスカウント**だった。

**今年2026年もまた昨年(2025年)や一昨年(2024年)同様、4月にプレミアムとなり指定参加者(証券会社)が割高なETFを借入れて空売りをし、その売付け代金で割安な現物を買付け現物拋出設定をしていた(裁定取引の可能性)がある。**

## ●米国籍商品ETFに巨額純流入！ただ、株式分割を考慮しない純設定推計の可能性

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年5月20日までの1週間に+418億ドル/約6.6兆円と47週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-102億ドル/約1.6兆円と15週連続の純流出。一方、ETFは+520億ドル/約8.3兆円と47週連続の純流入(継続的なミューチュアル

ファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その39「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ [https://www.am.mufg.jp/report/investigate/okum\\_231127.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investigate/okum_231127.pdf) 〇



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

\*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2026年5月20日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。流入1～3位は商品・フォーカス、米国超短期債、米國中長期コア債。流出1～3位は、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、デジタル資産(ビットコイン等)、米国小型ブレンド株(米国株が-17億ドルと11週ぶりの純流出)。

債券が+183億ドルと7週連続の純流入で、**コモディティ/Commodities Focusedが+224億ドルと週次データが統計で測れる2009年6月以来で最大となっている**。そのほとんどが「アバディーン・フィジカル・プラチナ・シェアーズETF/abrdrn Physical Platinum Shares ETF(ティッカー: PPLT)」の+220億ドル(プラチナ現物価格に連動した投資成果を目指す)である。

ただ、同ETFの純資産総額が2026年5月はずっと24億ドルから26億ドル前後である事、2026年5月14日から2026年5月20日までの間に口数は5月18日に僅かに減った(つまり純流出した)だけであり、明らかに異常である。

実は**2026年5月18日に「アバディーン・フィジカル・プラチナ・シェアーズETF/abrdrn Physical Platinum Shares ETF(ティッカー: PPLT)」は10対1の株式分割/10-for-1 forward split(1口を10口にする、投資家の保有口数は10倍になる)をしており、基準価額が表面上10分の1となり(分割直前178.62ドル→分割後17.86ドル)、純資産が大きく変わっていない中、純設定推計をすれば巨額純流入となる(Bloombergなどでは基準価額は修正されており、純流出も5月18日に僅かにあるだけ)**。2026年5月14日から2026年5月20日までの間に株式分割があり、それを修正しなかった為に起きた「過去最大の純流入」である。

世界で急増しているETFに、今大きな注目が集まり、米欧の市場ではETFという言葉が出ない日が無いくらい登場する。こうした世界的なETF全盛時代、(先述した)日本籍日本株ETFの巨額流出(裁定取引の可能性)、米国籍商品ETFの巨額流入(株式分割を考慮しない純設定推計の可能性)、さらには、米国富裕層による節税の為に351条ETFコンバージョンでETFが急増している事など、日本の投資家もしっかりETFを理解し市場を見ていきたいものである(米国でETFが急増している理由に米国

富裕層による節税の為に351条ETFコンバージョンも…2026年5月11日付投信調査コラムNo.443「日米資産運用税制～米国のトランプIRA(確定拠出年金)とタックスアウェア型ロングショート(SMA、ヘッジファンド)と351条ETFコンバージョン(SMA等から

ETFへ)！日本のこともNISAとミニマムタックスも!!～」  
[https://www.am.mufg.jp/report/investigate/colom\\_36931.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investigate/colom_36931.pdf) )o



米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2026-05-20現在

**\*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
上位 10 分類 ↑	1 Commodities Focused	+22,034	+1,457	+21,427	327,550	商品・フォーカス
	2 Ultrashort Bond	+6,162	+2,675	+11,585	476,483	米国超短期債
	3 Intermediate Core Bond	+2,980	+2,412	+11,028	748,094	米国中長期コア債
	4 Trading--Leveraged Equity	+2,683	-333	-1,370	171,582	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
	5 Technology	+2,231	+6,824	+12,840	671,974	米国テクノロジー株
	6 Muni National Interm	+1,729	+854	+4,392	276,160	米国全米地方債
	7 Long Government	+1,610	-299	+3,358	143,942	米国長期国債(6年超)
	8 Large Value	+1,480	-1,239	-3,154	1,655,364	米国大型バリュー株
	9 Mid-Cap Blend	+1,270	+846	+3,751	503,795	米国中型ブレンド株
	10 Large Growth	+1,225	+6,991	+6,848	2,354,148	米国大型グロース株
57 Japan Stock	+49	+548	+433	53,216	日本株	
下位 10 分類 ↓	112 High Yield Bond	-763	+797	+226	292,248	米国ハイイールド債
	113 Corporate Bond	-824	+1,299	-2,869	199,616	社債
	114 Diversified Emerging Mkts	-940	-1,018	-2,913	761,205	グローバル・エマージング株
	115 Industrials	-970	-142	-630	101,141	農業・インフラ・輸送等
	116 Mid-Cap Growth	-986	-837	-3,577	308,648	米国中型グロース株
	117 Focused Region	-1,291	-922	-2,867	93,198	地域・フォーカス
	118 Financial	-1,315	-1,410	-2,851	95,724	金融株
	119 Small Blend	-1,781	-2,588	-2,981	546,390	米国小型ブレンド株
	120 Digital Assets	-1,946	-675	-669	126,137	デジタル資産(ビットコイン等)
	121 Large Blend	-2,176	+17,480	+33,732	5,705,555	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
	全121分類の合計		+41,790	+50,570	+144,462	23,933,569
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	-3.26	+5.12	+1.26		
	S&P500	-0.12	+1.11	+4.23		
	MSCI ワールド	-0.16	+0.57	+3.19		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部シニアリサーチアナリスト

松尾 健治( [kenji-matsuo@am.mufg.jp](mailto:kenji-matsuo@am.mufg.jp) )、

窪田 真美( [mamil-kubota@am.mufg.jp](mailto:mamil-kubota@am.mufg.jp) )。

### **本資料に関してご留意頂きたい事項**

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

### **本資料中で使用している指数について**

TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

MSCI ワールド インデックス、MSCI ジャパンに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



**三菱UFJアセットマネジメント**

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会